

住みよい高砂・駅周辺地区のまちづくり 駅周辺地区勉強会ニュース

第8号 平成26年4月

駅周辺や商店街・住宅地などの 「歩きやすい歩行者空間の工夫」を テーマに、視察を行いました



第2回事例視察（平成26年2月19日）は、まちづくり委員会、駅周辺地区勉強会の合同で行いました。29人の皆さんが参加して、「歩きやすい歩行者空間の工夫」をテーマに、北千住駅東口と千駄木・谷中を視察しました。

◆北千住駅東口

東京電機大学の敷地内の通路・緑地等が計画的に整備され、快適に歩ける空間になっていました。交通広場と商店街とのつなげ方も参考になりました。



大学敷地内の通路・緑地等を見学



交通広場の奥は商店街の街並み

◆千駄木・谷中

千駄木の道路は、安全に歩けるよう、さまざまな工夫が見られました。小学校前のコミュニティ道路は、電線が地中化され、歩道の段差が低いバリアフリーの道路でした。



千駄木の住宅地の道路を歩く



現地でコミュニティ道路の学習

「駅周辺地区のまちの将来像」の中間まとめを作成しました！～平成25年度第2回・第3回勉強会～

◆3つの拠点の開発イメージ

第2回勉強会（平成25年11月27日）は、高砂駅周辺、車庫跡地（現・高砂車庫）、創出用地の3つの拠点について、鉄道立体化を想定した高砂の将来像を検討しました。

特に、車庫跡地（現・高砂車庫）と創出用地は規模が大きく、将来のまちづくりに大きな影響があることから、他地区の事例等を参考に立地が望まれる施設等を検討しました。

◆道路・歩行者空間のイメージ

第3回勉強会（平成26年3月5日）では、これまでに視察した駅周辺や住宅地・商店街などのスライドを参考に、拠点を結ぶ主要な動線となる道路・歩行者空間の具体的なイメージを話し合いました。

◆平成25年度の成果（中間まとめ）

平成25年度全3回の勉強会で3つの拠点の方向性や想定される施設、拠点間を結ぶ道路・歩行者空間を検討し、中間まとめを作成しました。（右図）

<第2回・第3回勉強会の様子>



この検討は、将来想定される鉄道立体化とそれに伴う高砂車庫の移転を前提として行っているものです。

平成25年度駅周辺地区勉強会成果（中間まとめ）



◆平成26年度の勉強会に向けて

平成26年度は、3つの拠点の居住者像・来街者像、道路・歩行者空間と街並みのイメージ、全体コンセプトなどの検討を行い、「駅周辺地区のまちの将来像（案）」のとりまとめを目指します。



★今後のスケジュール

- 平成 26 年 5 月頃 開発協議会総会 平成 25 年度の検討結果報告
- 平成 26 年 夏頃 平成 26 年度第 1 回 駅周辺地区勉強会

キリトリ線

駅周辺地区のまちづくりや勉強会についてのお問い合わせ、勉強会ニュース第 8 号を読んでのご感想・ご意見などがありましたらお知らせ下さい。

お名前：
お電話番号：
FAX：



高砂地区開発協議会事務局
葛飾区役所 高砂地域整備担当
FAX ：03-3697-1660

発行元：高砂地区開発協議会 会長 本田幸一

協 力：葛飾区都市整備部街づくり推進課高砂地域整備担当

(担当：石田、竹内)

電話 03-5654-8344 (直通) 03-3695-1111 (内線 3412)

ファックス 03-3697-1660 〒124-8555 葛飾区立石 5-13-1